

■一般社団法人 鹿児島県作業療法士会 理事会 議事録

日時：令和4年7月27日（水） 19：00

場所：Web 会議

出席者：吉満・藤田・福永・西・柳田・黒木・住吉・坂下・日高・永山・小澤・田中・安藤・峯戸松

欠席者：深見

報告

報告事項1

提出者：田中 有貴

士会内での立場：事務局長

報告：年会費納入について

内容：7月27日現在 総会員数1171名中913名（78%）納入済み

報告事項2

提出者：田中 有貴

士会内での立場：事務局長

報告：退会者について（3名）

内容：川内 勝博（カガチ カツヒロ）自宅会員

福岡 奈津美（フカ ナツミ）肝付町立病院 宮崎県へ転出

新山 千晶（ニヤマ チアキ）オレンジ学園

報告事項3

提出者：田中 有貴

士会内での立場：事務局長

報告：後援依頼承諾

内容：鹿児島大学病院主催

10/22（土）令和4年度がん診療連携拠点病院機能強化事業

市民公開講座 よくわかる！乳がん治療～早期発見・早期治療があなたの命を救います～

報告事項4

提出者：黒木貴博

士会内での立場：基礎研修部理事

報告：7/3, 10 MTDLP 基礎研修 7/17 第1回現職者共通研修 実施状況

内容：①MTDLP 研修 講師：安藤健司さん 受講者：11名

②第1回現職者共通研修 延べ受講者：58名

- ・「作業療法生涯教育概論」 講師：黒木貴博 受講者：42名
- ・「作業療法の可能性」 講師：橋口信洋さん 受講者：56名

報告事項5

提出者：柳田信彦

士会内での立場：学術部担当理事

報告：第32回県学会

1. 第32回鹿児島県作業療法学会

- 1) 学会長：酒井 宣政 氏（種子島医療センター）
- 2) テーマ：チャレンジ～新しい時代に飛び立つ私達～
- 3) 開催日：令和4年8月27（土）13：00～・28日（日）15：00 ごろ
- 4) 会場：西之表市民会館：現地開催・Web配信のハイブリット
- 5) 内容：スペシャルセッション、教育公演1つ、公開講座2つ、特別講演1つ、臨床チャレンジ・共有企画
- 6) 演題数：18題：一般演題発表：優秀賞、チャレンジ賞、フレッシュマン賞あり
- 7) 協賛 4件あり（大勝病院 原田学園 豊島病院 池田病院）
- 8) 学会への事前登録受付実施中：現在76名申し込みあり
- 9) その他：感染対策のマニュアルを作成中（濱添OT）。会場内での飲食は禁止。
ノースーツ、ノーネクタイ学会、クールビズ学会の宣言（来てもらう場合）→Line@で広報予定

報告事項6

提出者：柳田信彦

士会内での立場：学術部担当理事

報告：学術誌：

- ・ Vol.29：新規投稿数：0件
現在：査読中1件
特集を組み予定：特集テーマ：地域包括ケアシステムに関連する作業療法関連で検討中
令和5年3月に発刊予定

報告事項7

提出者：柳田信彦

士会内での立場：学術部担当理事

報告：研究支援事業：

1. 研究法研修会：

- 1) 第1回研修会：開催日時：令和4年6月24日（金）19：30～21：00
タイトル：事例検討のための研修会

～シングルケースのまとめ方、学会発表につなげる手順を学ぶ～

講師：鹿児島第一医療リハビリ専門学校 池田 真一 氏

場所：個別 web 受講

内容：院内で事例報告の予定がある方、今後学会に参加、学会で発表を考えている方に向けた基礎的なことを学ぶ。事例報告の意義から報告の形式、学会発表に向けた準備、自分のやりたいテーマの見つけ方などを講義形式と個人ワークを通して学ぶ。

参加者：19名

アンケート結果：1～5年目、11～15年目がそれぞれ3割を占めた。全体としては9割程度で高評価であった。

<参加者コメント>

- ・事例報告や研究に対する動機づけが高まりました。また同僚と研究疑問について話し合える場を設けたいと考えました。
- ・今年度発表する機会があるのでその発表にいかしていきたいと思います。

2) 今後の研修会予定

第2回研究法研修会：研究テーマを見つけてみよう

9月21日（水）19時30分～21時

講師 藤田 賢太郎氏（鹿児島医療技術専門学校）

10月 文献検索 文献検索の方法や研究様式、デザインを学ぶ

12月 統計 チャート方式、具体例を決めて統計手法選択のパターンを学ぶ

2月 エキスパート向け量的、質的研究の各エキスパートの先生に自分の研究を話してもらう

3. 研究相談会：案内を広報予定

4. 課題研究助成制度

研究助成承認：加治木温泉病院 藤本皓也氏

テーマ：中枢神経系疾患を伴う対象者に対し、手指屈曲伸展反復運動時の同時性収縮の評価方法の検討

期間：令和4年6月～令和6年5月まで 制度を実施中

※半年ごとに進行状況の確認を行う予定

報告事項8

提出者：柳田信彦

士会内での立場：学術部担当理事

報告：学術部コンテンツ（6月から進展なし）

- ・種子島学会用の動画を作成中
- ・昨年の研修動画（ビデオライブラリ）を一斉配信予定

報告事項 9

提出者：坂下寛志

士会内での立場：広報部理事

報告：

①鹿児島市市民健康まつり 令和4年10月30日（日）

感染状況や協力人員を依頼

②広報誌「IDDOT vol.3」(2,000部)

活用、配布先を検討 依頼があればお届け予定

今後は、SNS(InstagramやFacebook等)を利用し、内容を蓄積して一定時期で広報誌へ転用

③広報部員の募集について

LINE@で募集計画

報告事項 10

提出者：永山俊介

士会内での立場：地域リハ推進部

報告：鹿児島県専門職アドバイザー情報交換会 令和4年7月24日 県庁にて開催

①参加者：(敬称略)有村智美、田之上友彦、池田大、永山俊介

②内容：

鹿児島県下の薬剤師会、歯科衛生士会、管理栄養士会、PT協会、ST協会、OT協会から担当者が集まり意見交換。今年度も市町村から専門職派遣依頼があった際には、各専門職アドバイザーへ県から依頼ある予定。

報告事項 11

提出者：永山俊介

士会内での立場：地域リハ推進部

報告：日本作業療法士協会 地域包括ケアシステム推進委員会九州ブロック（Fブロック）会議

①日程：令和4年8月3日（水）

②参加予定者：(敬称略)黒木貴博、永山俊介

報告事項 12

提出者：永山俊介

士会内での立場：地域リハ推進部

報告：日本作業療法士協会 生活行為工夫情報事例審査研修会

①日程：令和4年8月7日（日）

②参加予定者：永山俊介、生活支援技術チームより1名

報告事項 13

提出者：永山俊介

士会内での立場：地域リハ推進部

報告：令和4年度鹿児島県介護実習・普及センター介護校介護講座・研修に係る講師派遣参加報告

①日程：令和4年7月27日（水）

②講師：永山俊介

議案

議案 1

提出者：田中 有貴

士会内での立場：事務局長

議案：新入会員について（11名）

池田 竣貴（イケダ シュンキ）今村総合病院 協会番号記載なし

中屋 みつき（ナカヤ ミツキ）谷山病院 協会番号記載なし

大道 奈菜（オオミチ ナ）恒心会おぐら病院 協会番号記載なし

塩屋 喜久雄（シヤ キクオ）せいざん病院 35741

小野 幸子（オノ サチコ）自宅会員 協会番号記載なし 再入会

時任 香帆（トキトウ カホ）薩南病院 92673

岩元 悠晟（イワモト ユウセイ）徳田脳神経外科病院 118524（免許番号？）

松元 悠輔（マツモト ユウスケ）霧島杉安病院 協会番号記載なし

山下 晃子（ヤマシタ アキコ）坂之上病院 114535（免許番号？）

永山 絵里加（ナガヤマ エリカ）南鹿児島さくら病院 協会番号記載なし

祁答院 彩香（ケトウイン アカ）自宅会員 90368

決議事項：承認

議案 2

提出者：吉満

士会内での立場：会長

議案：協会の方針について（案）

以下の実現可能性について

1. 代議員との連携（代議員とホットラインを結んで、相互に情報提供、意見聴取する）
担当者または部局：藤田（副会長）、吉満（会長）
2. 協会の発信力強化（SNS や YouTube を通して協会の活動を積極的に会員にアピール）
担当者または部局：坂下（広報部）、福永（副会長）

3. 新しい研修会の企画（会員のニーズに応えられる研修会、管理者向けの研修会を企画する）
担当者または部局：黒木（基礎研修部）、柳田（学術部）、永山（地域リハ推進部）
中堅どころの受ける研修がない 教育研修 研究法研修会、地域リハ各チームの研修はあるが・・・

例.管理運営、ビジネスマナーなど

研修のリクエスト→各施設で研修会のアイデアをもらい、講師謝金や講師との橋渡しは県協会で行う
会員・非会員が参加することになるかもしれないが、非会員への入会の促しになるかも
(黒木：案)

①R4年3月23日開催の県OT交流会 13名の参加であったが、経験年数の若い方々の意見を聞く貴重な場となった。→今後は新人から中堅の方にスポットを充てた交流会（明日の臨床に役立つ！情報交換会）を計画したい。有志を集め、研修会を企画したい。

②新たな研修会の企画ではないが、県内の基礎研修修了者が少ない。各施設の中堅レベルの方で修了せずに埋もれている方も結構いるのではないかと。

生涯教育概論のアンケート → 10年超えの方々でも「生涯教育制度の仕組みを知らなかった」と
⇒基礎研修修了のすゝめの広報や認定OTの方の話を聞いて、取得のメリットなどの提示が出来たら
⇒youtubeのコンテンツを活用していく

4. 在宅会員の支援（ライフ/ワーク部を作り、育児、介護世代に研修会やコミュニティを提供）
担当者または部局：西（副会長）、吉満（会長）
5. 転職・復職の支援（領域を変えて職に就く際のティーチング）
担当者または部局：小澤（総務部）、日高（北薩支部）、住吉（大隅支部）、深見（霧島始良支部）

議案3

提出者：吉満

士会内での立場：会長

議案：通信費、謝金の見直しについて

業務が多忙で、業務内容が高度化している⇒、ボランティアでは役職者の離職や後継者不足等の問題が生じている。通信費、謝金の見直しを行いたい。

決議事項：継続審議

議案4

提出者：吉満

士会内での立場：会長

議案：組織改編

決議事項：代議員との交流が teams で直接可能となり、若手 OT との交流もリーダー育成事業により進みつつある。従来本協会は支部制をとっていたが、組織の体制を見直したい。

案) コミュニティープラットフォームを提供(提案)する

支部の主な役割の一つが研修運営であった。研修運営に関しては Teams でも代替運営可能となっており、場所に捕らわれない組織体制の構築が可能となりつつある。一方で参加型の協会運営を構築するためにも(所属意識を高める)会員の生の声を吸い上げるシステムの構築が望まれる。そのために有効な手段として支部の役割(考え方)は未だ重要である。支部の本来の役割はそれぞれのセクションの活性化であると考え(場合によっては領域、年齢等)。そのためには人材発掘が欠かせない。今年度より代議員も地区割をなくしている。代議員の方々の協力も得ながら、いくつかの小組織を試験的に立ち上げ定期的な意見交換(実際集まれないので Web で)を行ってもらってはいかがだろうか。その活動から得られたデータをもとに今後の組織体制の構築に反映させていければと考える。

議案 5

提出者: 西 綾

士会内での立場: 副会長

議案: 講師登録に関して

作業療法士の認知度の向上と、協会委員の向上心を活かす機会を作る

協会への収入源とし、活動の安定化を図る

講師登録制度に関して（案）

【メリット】

- ・他団体に作業療法士を講師として雇用してもらう事で、作業療法士の知名度の向上を図る。また、講師登録をすることで、信頼度や質の担保・外部が求める役割の洗い出しが可能になる。
- ・講師登録することで、チャレンジしてみたい会員へのやる気を向上させる。また、基礎研修や認定作業療法士を取得するメリットを感じてもらおう。
- ・講師紹介により、紹介手数料を取得し協会運営費とし、活動の幅を増やせる。
- ・基礎教育など研修を開催する際に、講師の選定が容易になる。

【デメリット】

- ・個人間でやりとりしたい作業療法士は嫌がる。
- ・

【講師登録リストの分類】年に1回新規登録及び更新

- ・登録者のベース
専門作業療法士 / 認定作業療法士 / 基礎研修修了者
- ・分類
身体障害/発達/精神/地域リハ/老年期/研究/MTDLP/教育/子育て/ウイメンズ
経路/認知症/脳血管/整形/装具/手装具/介護機器/介護ロボット/など
(チェック式)
- ・紹介分
顔写真/名前/所属/依頼文の宛先/作業療法士番号/講義可能分野チェック/PR文
謝金受け取り口座等(事務所のみの保管)

【流れ】

1. 講師依頼は、事務で受付
2. 講師登録管理部門より候補者選定
3. 講師選定は理事会で決定
3. 講師依頼は事務よりやり取り行う。
4. 謝金は依頼主から作業療法士協会に入金し、手数料を引き講師へ振り込む
5. 依頼主からのアンケート回収
6. 講師からのアンケート回収と講義資料のPDFを受け取る
*個人間の依頼への打診等は、トラブル防止から禁止

議案6

提出者：西

士会内での立場：副会長

議案（継続）：自動運転再開作業療法検討委員会の活動に関して

決議事項：自動運転再開作業療法検討委員会は、これまで鹿児島県指定自動車教習所協会や県警との連携を行ってきました。しかし、これまで協定等は結んでいない状況での活動でしたので、改めて協定を結ぶことを検討したく提案します。

目的と理由

1. 日本作業療法士協会の運転と作業療法委員会においても、協定を結ぶ必要性を示しています。
(全国で3ヶ所ほど協定を結んでいる県あり)
2. 鹿児島県医師会への挨拶時もパブリックな団体であることを求められています。
3. お互いの役割の認識と活動の意味を明確化し、人事異動後も円滑にやり取りを行うため。
上記を踏まえて、徳島県OT協会の協定書を引用して作成しました。

鹿児島県自動車運転支援再開検討プロジェクトに関する協定

一般社団法人鹿児島県作業療法士協会（以下「甲」という。）、一般社団法人鹿児島県指定自動車教習所協会（以下「乙」という。）及び鹿児島県警察本部交通部（以下「丙」という。）は、相互に連携を密にし、障がい者や高齢者等の自動車運転の支援に向けて取り組みに関し、相互に協力するため、次のとおり協定を締結する。

（目的）

第1条 この協定は、甲、乙及び丙の間において、高次脳機能障害をはじめとする障がい者や高齢者等、自動車運転の継続の課題を抱える方等に対し、関係機関・団体が連携し、それに関わる専門職が、適切な方法で自動車運転支援を行うためのプロセスを共有して、県民の安全で安心した暮らしを支えることを目的とする。

（協力内容）

第2条 この協定は、甲、乙及び丙の相互理解による信頼と協力関係を基本とし、丙は甲及び乙に対して指導、助言するものとする。

（活動内容）

第3条 甲、乙及び丙の活動は以下のとおりとする。

1 甲は、県下の医療機関において障がい者等の自動車運転の再開に必要な評価及び支援を行うものとする。

2 乙は、県下の指定自動車教習所において医療機関と連携し、必要に応じて実車での走行評価を行うものとする。

3 丙は、県下の指定自動車教習所に必要な支援方法または実車での走行評価に対して指導、助言を行うものとする。

4 甲、及び丙は、運転を中止した障がい者や高齢者等に対する支援について、医療機関・団体に対して必要な意見を述べたり働き掛けるなど、総合的な運転支援を推進するものとする。

（個人情報の保護）

第4条 甲、乙及び丙のは、この協定の実施にあたり、個人情報の保護に十分配慮することとし、活動上知り得た情報を関係者以外の第三者に漏らしてはならない。

（相互連携）

第5条 甲、乙及び丙は、この協定に定める事項の円滑な推進を図るため、相互に連絡窓口を設定し、緊密に情報を共有するなど、連携の強化に努めること。

（協議）

第6条 この協定に定めない事項又は疑義が生じた場合は、甲、乙及び丙の協議するものとする。

（有効期間）

第7条 この有効期間は、協定締結の日から1年間とする。ただし、この協定の有効期間終了前の1ヶ月前までに、いずれからも意思表示がなされないときは、期間終了の翌日から1年間この協定を更新するものとし、以後もまた同様とする。

この協定の締結を証するため、本書3通を作成し、甲、乙及び丙が署名押印のうえ、各自その1通を保有するものとする。

令和 年 月 日

甲 鹿児島県鹿児島市城山町1-13ナポリビル4階
一般社団法人 鹿児島県作業療法士協会

会長

乙 鹿児島県始良市東餅田3935-3
一般社団法人 鹿児島県指定自動車教習所協会

会長

丙 鹿児島県鹿児島市鴨池新町10-1
鹿児島県警察本部交通部

交通部長

S Tは自動車運転に関する研修はあまりない。PT はかかわりはないが、知識は必要ではないかとの認識あり。
(POS での連携・研修も必要)

医師会・県警・指定自動車教習所協会・高次脳機能障害支援センター・OT・ST・PT でチームを作る方向で進めたい。

議案 7

提出者：西 綾

士会内での立場：副会長

議案：自動車教習所と医療機関へのアンケート実施の許可

自動車運転再開検討委員会では、関連団体とのネットワーク会議を実施している。現状をアンケートで理解し、今後の活動に繋げたい。アンケート内容は以下（アドバイザーの窪田教授への内容確認済み）

【医療機関へのアンケート】

2022/07/27 8:02 教習所との連携に関するアンケート

教習所との連携に関するアンケート

鹿児島県作業療法士協会の自動車運転再開作業療法検討委員会です。
皆様方のご協力により、自動車運転を再開するに当たり様々な知識をいただきながら支援活動をすすめております。日々感謝しております。

現在コロナ禍により、教習所とのかわりか思うようにできず、活動の進展がない状況にはあるかと感じます。

こんなことから、現在の教習所と医療機関との連携状況をアンケートにより把握し、課題の抽出や今後のネットワーク会議や活動の参考にさせていただけたらと考えております。
お手数をおかけしますが、どうぞご協力よろしくお願いいたします。

まことに勝手ながら、アンケート回答期限を2023年8月15日までとさせていただきます。

*必須

- メールアドレス*
- 医療施設名*
- 役職とお名前*
- 自動車運転再開支援を行っていますか？*
当てはまるものすべてを選択してください。
 病院内での相談や評価のみ
 自動車教習所との連携も行っている
 自動車運転再開に関する支援は行っていない
 その他: _____

2022/07/27 8:02 教習所との連携に関するアンケート

- 現在、自動車教習所との関りはありますか？*
当てはまるものすべてを選択してください。
 連携関係にある教習所がある
 連携までないが、利用した教習所はある
 問い合わせのみで、利用はない
 全く問い合わせもなにもない
 病院の方針で、連携できない
 その他: _____
- 連携もしくは利用経験のある教習所名をお教えてください。(ない場合はなしと*お書きください)

- 教習所との連携にあたり、依頼書などの書類を作成されていますか？*
当てはまるものすべてを選択してください。
 利用初めの段階のみ、教習所への依頼書を作成している
 利用者毎に、教習所への依頼書を作成している
 依頼書などの取り決めはない
 その他: _____
- 教習所との連携シートは活用されていますか？(複数選択可)*
当てはまるものすべてを選択してください。
 医療施設からの情報は、指定教習所協会と作業療法士協会モデルで情報提供を構成している
 評価票は、指定教習所協会がだされた評価票を活用している
 オリジナルの情報提供・評価票を使用している
 口頭のみである
 その他: _____

2022/07/27 8:02 教習所との連携に関するアンケート

- 教習所へは、訪問されていますか？*
もしくは、SDカードでの情報の共有をされていますか？(複数回答可)
当てはまるものすべてを選択してください。
 訪問あり
 訪問なし
 SDカード情報提供あり
 SDカード情報を提供拒否がありできていない
 常時のみ
 その他: _____
- 作業療法士協会との活動で、ご意見等ありましたらよろしくお願いたします*
す。(例：良かったこと、メリットに感じる点、問題点、改善点、提案など)

このコンテンツは Google が作成または承認したものではありません。

Google フォーム

【教習所に対してのアンケート】

2022/07/27 8:03 医療施設との連携に関するアンケート

医療施設との連携に関するアンケート

鹿児島県作業療法士協会の自動車運転再開作業療法検討委員会です。
皆様方のご協力により、自動車運転を再開するに当たり様々な知識をいただきながら支援活動をすすめております。日々感謝しております。

現在コロナ禍により、病院も外部とのかわりか思うようにできず、活動の進展がない状況にはあります。

こんなことから、現在の教習所と医療機関との連携状況をアンケートにより把握し、課題の抽出や今後のネットワーク会議や活動の参考にさせていただけたらと考えております。
お手数をおかけしますが、どうぞご協力よろしくお願いいたします。

まことに勝手ながら、アンケート回答期限を2023年8月15日までとさせていただきます。

*必須

- メールアドレス*
- 教習所名*
- 役職とお名前*
- 教習所の車両に対してのご質問*
1つだけマークしてください。
 改善案がある
 経験の取り分けなどの対応ができるものはある
 改善案はない
 その他: _____

2022/07/27 8:03 医療施設との連携に関するアンケート

- 現在連携している病院はありますか？*
当てはまるものすべてを選択してください。
 連携関係にある施設がある
 連携までないが、利用した施設はある
 問い合わせのみで、利用はない
 全く問い合わせもなにもない
 教習所として、連携できない
 その他: _____
- 連携もしくは利用経験のある医療施設名をお教えてください。*

- 医療施設との連携にあたり、依頼書などの書類を作成されていますか？*
当てはまるものすべてを選択してください。
 利用初めの段階のみ、施設から依頼書をもらう
 利用者毎に、施設から依頼書をもらう
 依頼書などの取り決めはない
 その他: _____
- 連携シートは活用されていますか？(複数選択可)*
当てはまるものすべてを選択してください。
 医療施設からの情報は、指定教習所協会と作業療法士協会モデルで送られてくる
 評価票は、指定教習所協会がだされた評価票を活用している
 オリジナルの情報提供・評価票を使用している
 口頭のみである
 その他: _____

2022/07/27 8:03 医療施設との連携に関するアンケート

- 連携時(想定でも可)にSDカードでの情報の共有が可能である。難しい場合は*
はその他に理由をお教えてください。
当てはまるものすべてを選択してください。
 可能
 その他: _____
- 作業療法士協会との活動で、ご意見等ありましたらよろしくお願いたします*
す。(例：良かったこと、メリットに感じる点、問題点、改善点、提案など)

このコンテンツは Google が作成または承認したものではありません。

Google フォーム

議案 8

提出者：柳田信彦

士会内での立場： 学術部

議案：第 32 回鹿児島県作業療法学会の開催の判断について

現在の鹿児島県の COVID-19 感染状況を鑑みての現時点（令和 4 年 7 月 23 日）での県学会の開催の方針について検討した

以下は酒井学会長の方針を記載したものである

現時点での県学会の開催の方針について

現時点では新型コロナ感染が拡大している状況だが、国の方針としては制限を設けないという意向の状況。種子島においても感染は拡大している状況。

そこで、第 32 回学会準備開始直後から感染対策についてアドバイスを頂いている種子島医療センターの感染管理看護師の下江氏に相談しながら現時点での方針案を検討した。

キャンセル料についてはホテル関連が 4 日前（ホテルの割引プランなどは別）、高速船が乗船 6 日前から 20%、飛行機は普通、往復、特便運賃は出発前だと手数料の 440 円のみ、先特は出発 54 日前から出発前は運賃の 50%となっている。

・令和 4 年 7 月 23 日の時点では学会開始 10 日前(8 月 17 日)を最終判断日として、(種子島の？鹿児島の？国の？) 蔓延状況、ならびに国の方針を見ながら以下の方法での開催を検討する。

第 1 案

講師、運営スタッフに陰性証明（PCR・抗原定量検査）をお願いした上で、感染管理の徹底（受付時の症状の確認、症状のある方の入場の制限、会場の人数制限）を設けて、現地と WEB のハイブリッド開催を行う。

参加者に関する検査は検討が必要。

第2案

講師、運営スタッフに陰性証明（PCR・抗原定量検査）をお願いした上で、感染管理の徹底（受付時の症状の確認、症状のある方の入場の制限、会場の人数制限）を設け、島内の方のみ現地での参加を可能とし、現地開催と、島外の方はWEBでのハイブリッド開催を行う。

第3案

講師、運営スタッフに陰性証明（PCR・抗原定量検査）をお願いした上で、症状の確認を設けて、感染管理の徹底したうえで講師、運営スタッフのみでWEB（Zoomのみ）の開催とする。

決議事項：種子島医療センターの8月の感染対策の判断を基にさい最終判断を行う。理事会の承認を得て承認を得て公開する

以上
皆様のご意見とこのような判断で良いか検討いただきたい

議案9

提出者：永山俊介

士会内での立場：地域リハ推進部

議案：基礎研修など以外の研修会における参加費の考え方について

- (1) 前回の理事会にて、学会においては「九州内の他県士会会員の参加費＝九州外の県士会会員の参加費」となった。
- (2) 昨年度の九州士会長会において、県を跨ぐ研修会の参加においては「九州内の県士会会員の参加費＝県内の会員の参加費」とするとなった。

以上より、基礎研修以外の研修会における参加費の考えとしては

- ・ 鹿児島県県士会員、その他の県士会員：同額
- ・ 非会員：10,000円

という判断でよろしいか検討頂きたい。

【その他】

- ・部員より委嘱状配布の希望あり（黒木）

次回会議：8月 日（ ）19時～